

### (5) 進路拡大への施策として

前記進路状況調査のとおり、福祉関連に就職する生徒と進学する生徒に大きく分かれている。

各大学の入学者選抜において専門学科に対する評価は充分ではなく、高校において福祉を学び、その専門性を高める意欲のある生徒に道を広げてやることを福祉教育に携わるものとしての責務の一端であると考えている。

推薦入学枠の設置・拡大、特別選抜枠の導入・拡大、「訪問介護員一級・二級修了者」「介護福祉士国家試験受験資格取得者」への配慮、福祉科科目を入試に加えることなどを全国大学の組織である次の8団体に行っている。

【『福祉に関する学科卒業生の進路に関する要望書』提出先一覧】

	団体名	加盟大学数 (17年度)		団体名	加盟大学数 (17年度)
1	国立大学協会	87大学	5	日本私立大学協会	357大学
2	公立大学協会	73大学	6	日本私立大学振興協会	17大学
3	日本私立大学団体連合会	4, 5, 6の連合	7	全国公立短期大学協会	34短大
4	日本私立大学連盟	124大学	8	日本私立短期大学協会	396短大

### 3. 高校福祉教育への課題

#### (1) 社会が求める高校福祉教育への在り方について

福祉科（福祉コース）設置高等学校は、昭和61年に、介護福祉士受検可能校として高校での福祉教育がスタートして以来、20年経過した平成17年度、47都道府県に、介護福祉士受検187校、訪問介護員養成研修事業643校、教科「福祉」実施181校、併せて1,011校。ここで福祉を学ぶ生徒も78,402人と高校教育で大きな領域と役割を担うに至っている。

そこで、福祉科（福祉コース含む）設置高校として受入れ施設でどのような評価を受けているのか、また、福祉教育における最も大切なもの、最も求められているもの、さらには、福祉科設置校に期待されること等を調査し、今後の福祉教育に反映させるため、全国589施設に対して調査を実施した。

今回の調査に対し、非常に関心が高く、84.2%（496施設から回収）と高い回答率になっており、この高い回答率は、福祉教育に対する最近の関心の高まりや、福祉科設置校に寄せる期待の高さを表しているものと受け止めている。また、施設と福祉科設置高等学校の繋がりの深さをも表しているものであり、高等学校における福祉教育が確固として根付いているものとするものである。

これまでの福祉教育に注ぎ込んだ努力とその成果が高く評価され、そして、今後に期待されている、その重みをも感ずるものである。

この中で特筆されることは、項目V「高卒資格取得者と専門卒以上の資格取得者との間に差がありますか？」という問いに対して、「個人差の問題である」との回答が60.6%